

自然保育推進事業 活動報告書

1 尾道市立木ノ庄東幼稚園

2 令和元年度の活動概要

(1) 環境構成について

園北側の園庭では、芝生広場を中心にままごと遊びや生き物探しを楽しんで、自然を遊びに取り入れられるようにしている。芝生だけでは生き物との出会いが不十分であったので、クローバーや季節の草花を育てる場を設定し、その季節ごとの楽しさが味わえるよう計画的に環境作りを行った。

園舎南側の園庭は、小学校グラウンドだった場所で自然と出会う機会が乏しいので、プランターで季節の野菜や花、ハーブなどを育て、栽培活動やままごと遊びを楽しめるようにした。

畑では、玉ねぎ・夏野菜・サツマイモを育て、収穫や調理を楽しんだ。子供が畑を探検しながら自ら関わるができるよう、畝を小さくし、動き回りながら水やりや実りの発見を楽しめるよう動線を工夫した。

園外では、竹林でのタケノコ掘り、神社でのドングリ・落ち葉拾い、山道（トトロの森）の探検など、地域の方の協力を仰ぎながら、体験の充実を図っていった。

(2) 遊びの事例

【タケノコ掘り・タケノコ倒し】



「長さや重さ、大きさによる硬さの違いなど、友達と一緒に全身を使って感じ取る」



「皮を剥いだり、削ったり、香りを嗅いだりしてタケノコならではの面白さを味わう」

【春の草花遊び】



「花壇の花よりも自然に育った草花に目を輝かせる」

【生き物との出会い】



「毎日生き物との出会いを求めて芝生広場を探検」 「カナヘビと友達(手乗りカナヘビ)」



「カブトムシハウスに入ってお世話」 「カブトムシが飛ぶとこ初めて見たー!!!」

【栽培・植物育て】



「季節ごとに多様な形や育ち方を見せてくれる野菜」

「給食のピワヤポンカンの

種が育つか実験」

【落ち葉遊び・秋のごちそうレストラン】



「木の実だけでなく、落ち葉や茎など様々な物から色が出ることを発見」

【園外探検】



「幼稚園に続く坂道で桜吹雪を全身に浴びる」 「トトロの森で鳥の鳴き声に耳を澄ませる」



「神社で落ち葉の下の世界に想像が膨らむ」 「原っぱで春の動植物を見つけ春を感じる」

(3) その他、自然体験活動の実施にあたって工夫したこと

保育カンファレンスの充実

毎週木曜日に次週に向けた保育カンファレンスを実施している。その中で自然についてのねらいに触れ、職員間で意見交流を行った。園内に昨年度とは違う植物が見られることを共有できたり、鳥の鳴き声についての話題から生き物を耳で感じる保育実践につながったりと、職員の資質向上につながった。また、幼児の気持ちに寄り添ったカンファレンス

をすることで、園庭に生えた一輪の花や大人の目には気が付きにくい小さな昆虫など、生活の中のふとした場面から自然に関わる学びを読み取る教師の視点が育った。